

2020年11月29日(47週目) 主日礼拝

「祭司的生活を味わいましょう」(レビ 19:1-4)

経済、健康、家族の問題など様々な問題があり自殺率が増加している。本当の原因は、悪魔の奴隷になっていることが問題である。キリストによってサタンが砕かれ、解放がある。救われた事の確信を持つように。私達に苦しみを与えるようにする悪魔との戦いである。私達には神様が共にいるために何も問題にならない。このような神様とどのように交わりが出来るかをレビ記に書かれている。どのように礼拝を味わい神様との交わりを持っていくのか。私達は、神様と共に歩み祭司的な生活を味わう者となるように。

1.レビ族の祭司	2.礼拝と祈りの生活	3.祭司的生活の実践
<p>▲レビ族のような祭司のはたらきをすることが出来るように。</p> <p>1)出 2:1(さて、レビの家のひとりの人がレビ人の娘をめとった。)</p> <p>(1) モーセとアロンを神様は呼ばれた。</p> <p>(2) 神様は解放される方法を教えた</p> <p>—小羊をほふり、かもいと門柱に塗った時にエジプトから解放された</p> <p>2)出 12:12-13(その夜、わたしはエジプトの地を巡り、人をはじめ、家畜に至るまで、エジプトの地のすべての初子を打ち、また、エジプトのすべての神々にさばきを下そう。わたしは主である。あなたがたのいる家々の血は、あなたがたのためにしるしとなる。わたしはその血を見て、あなたがたの所を通り越そう。わたしがエジプトの地を打つとき、あなたがたには滅びのわざわいは起こらない。)</p> <p>(1)イスラエルの民たちが、小羊の血によって完全に解放された。</p> <p>—初子を打ったというのは悪魔の頭を打ち砕かれたという事である。</p> <p>(2)神様は、エジプトの神々を完全に打たれた。</p> <p>(3)私達が、キリストを信じる時にサタンの頭は砕かれる。</p> <p>3)出 19:5-6(今、もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはすべての国々の民の中であって、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。あなたがたはわたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。これが、イスラエル人にあなたの語るべきことばである。)</p> <p>(1)「わたしの宝となる」—私達は救われて神様の者となる。</p> <p>—神様の御心の通りに生きるようになる。</p> <p>(2)「祭司」—悪魔の奴隷から私達を救い出して、神様の祭司とした。</p> <p>4)出 28:1(あなたは、イスラエル人の中から、あなたの兄弟アロンとその子、すなわち、アロンとその子のナダブとアピフ、エルアザルとイタマルを、あなたのそばに近づけ、祭司としてわたしに仕えさせよ。)</p> <p>(1)祭司は、着る物も特別な物を着ていた。</p> <p>(2)私たちは神様の者(祭司)であるので神様が全て責任を負って下さる。</p> <p>(3)私達は救われたときから神様の子供に変えられた。</p> <p>—主にすべてのことを任せるように。</p>	<p>▲祭司は、礼拝と祈りが中心であった。祭司は5つの捧げものを捧げていた(レビ 1章~7章)。</p> <p>①全焼のいけにえ、②穀物のささげ物、③和解のいけにえ</p> <p>④罪のためのいけにえ、⑤罪過のためのいけにえ</p> <p>*これらの捧げ物は、イエス・キリストを意味している。</p> <p>1)レビ 1:8-9(祭司はこれら全部を祭壇の上で全焼のいけにえとして焼いて煙にする。これは、主へのなだめのかおりの火によるささげ物である。)</p> <p>(1)祭司が、全焼の生け贄を捧げるようになる。</p> <p>—祭司たちは毎日生け贄を捧げていた。</p> <p>2)レビ 2:16(祭司は記念の部分、すなわち、そのひき割り麦の一部とその油の一部、それにその乳香全部を焼いて煙にきなさい。これは主への火によるささげ物である)</p> <p>(1)生け贄の煙を嗅ぎながらキリストを考えた。</p> <p>—福音に集中することをしていた。</p> <p>—福音に集中することが祈りである。</p> <p>3)レビ 3:11(祭司は祭壇の上でそれを食物として、主への火によるささげ物として、焼いて煙にきなさい。)</p> <p>4)レビ 4:34-35(祭司は指で、罪のためのいけにえの血を取り、それを全焼のいけにえの祭壇の角に塗りなさい。その血は全部、祭壇の土台に注がなければならない。また、和解のいけにえの子羊の脂肪が取り除かれる場合と同様にその脂肪全部を取り除かななければならない)</p> <p>(1)祭司の生活をしているとただキリストの信仰になる</p> <p>—7つの祝福を味わうようになる。</p> <p>(2)私達が福音に集中をする時間を持つように。</p> <p>—救いの道を書く・福音の聖句を書く・御言葉の書き起こし・呼吸の祈りで、福音に集中する時間を持つ。</p> <p>(3)福音に集中する事が神様が望む祭司的な生活である</p>	<p>▲福音に集中をする時に、実が結ばれるようになる。祭司的な生活を実践するようになる。</p> <p>1)レビ 19:2(イスラエル人の全会衆に告げて言え。あなたがたの神、主であるわたしが聖であるから、あなたがたも聖なる者とならなければならない。)</p> <p>(1)神様が聖であるから私達も聖なる者となる。</p> <p>—聖の反対が、罪と悪である。</p> <p>(2)救われ、福音に集中をする中で神の性質となる</p> <p>(3)神様が私達に下さる祝福がある(出 28:36)。</p> <p>2)レビ 19:3(おのおの、自分の母と父とを恐れなければならない。また、わたしの安息日を守らなければならない。わたしはあなたがたの神、主である。)</p> <p>(1)聖なる者の生活とは。</p> <p>—人間関係を尊く思う(特に両親を敬う)</p> <p>—主日礼拝中心になる。</p> <p>—偶像崇拝×(キリストよりも大事な物を捨てる)</p> <p>【レビ 19:4(あなたがたは偶像に心を移してはならない。また自分たちのために鋳物の神々を造ってはならない。)]</p> <p>【コロ 3:5—お金、成功、むさぼりに執着することも偶像崇拝である。】</p> <p>3)ハバククの信仰告白—ハバ 3:17-18(私は主であって喜び勇み私の救いの神にあって喜ぼう。)</p> <p>(1)物で満たされるかどうか幸せの基準でない。</p> <p>(2)救われることが、私達にとって喜びである。</p> <p>—救われて、礼拝をしながら歩むことが幸せ。</p> <p>(3)霊的な力が溢れるようになる(ハバ 3:19)。</p> <p>—福音にあって満足をする時に神様も祝福する。</p> <p>4)1ペテ 2:9(あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。)</p> <p>(1)神様が伝道者となれるようにして下さる。</p> <p>(2)王、祭司、預言者の務めを与えてくださった。</p> <p>(3)私達の人生の目的は伝道と宣教である。</p> <p>▲結論—使命を持つものに伝道、宣教の門が開く</p> <p>・神様は、日本をキリスト教国家として下さる。</p>

現場地教会(2019年11月29日～2020年12月5日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
 私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
 2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
 われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「祭司的生活を味わいましょう」(レビ 19:1-4)

【讚美】 245 栄に満ちたる

【祈り】

- ①教会の祈りの課題
 ・元旦メッセージ:「サタンを踏み砕く」ローマ 16:20、
 「次世代を生かす歩みとなる 30 年」ローマ 16:25-27
 ・御国イザヤ牧師に聖霊充滿と 5 つの力が与えられるように。
 ②現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。
 ③現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム】

【祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。アーメン

福音宣教教会 祈り題	<ol style="list-style-type: none"> 福音宣教教会(ローマ 16:20、25-27) 主任牧師(使徒 6:4、アモ 3:7、創世記 18:17) レムナント(イザヤ 6:13) 癒し(使徒 19:8-20) 日本神学校、東日本神学校(Ⅱ列 6:8-23) 200 都市(創世記 41:36-38) 1000 大学(使徒 19:9-10) 日本総会教会(使徒 6:4、コロ 4:2-3) 日本 8000 教会(使徒 17:1-3) 本部、柳牧師(138、14、24、25、00、237) 日本をキリスト教国家とする(使徒 18:9-10) 237 宣教、太平洋・インド洋宣教(マタ 24:14、使徒 1:8)
契約の祈り (主日礼拝)	<ol style="list-style-type: none"> キリストの十字架の血潮によって、私をサタンの奴隷・罪の奴隷・死の奴隷から解放され、決して災いを受けない、神様に仕える祭司とされたことを感謝します。 礼拝や祈りによって、ただキリストに集中するとき、聖霊様が私の霊・心・考え・無意識・潜在意識にまで働き、私の幸せの基準が世のものではなく、神様に喜ばれることに変わることを信じます。 祭司的生活を通して、福音の喜びと CVDIP の使命を回復し、サタンの国を神の国に変える強い霊的軍隊になりますように。
お知らせ	<ol style="list-style-type: none"> 12月6日(主日) 創立記念感謝主日 12月20日(主日) クリスマス主日 14:00 クリスマスフェスティバル 12月11日(金)-12日(土) 世界重職者大会(参加無料) 申込担当者: 鶴見愛香牧師夫人 伝道冊子のためにお祈りをお願いします。
<h1>福音宣教教会</h1> <p>主管牧師: 御国イザヤ 名古屋市中区栄5丁目23-8 / tel: 052-238-6003 主日(日曜)1部礼拝 7:00 / 2部礼拝 10:00 / 3部礼拝 12:00</p>	